

# 作品解説

- |             |             |
|-------------|-------------|
| 6. みずたに まなぶ | 35. 村山 直子   |
| 7. TM2021   | 36. 淵上 真友美  |
| 14. 上瀧 伸博   | 38. ひいこ     |
| 16. モングチサン  | 42. 葵 琥珀    |
| 18. ATSUKO  | 43. 秋元 真理子  |
| 22. SANAE   | 51. 大本 愛弓   |
| 25. のうとみふみこ | 55. タカサカ タカ |
| 29. 堺 浩一    | 56. Azusa   |
|             | 57. 藪 晶子    |

## WATARI !

みずたにまなぶ



ざつ然とみえる人の往来。意外にもせい然としている。そのせい然さは、意識されているものではないはずだ。どうしてだろうと思った。なにかホントは何かしらの、意図されているものがあるのだろうか。場所は、奈良の東大寺の門前町。この場所、誰もが知っている、いちどは訪れる場所だ。この場所で、思わずにはいられないことがある。今の時代、SNS などの情報発信で、知ることができる。でも、この場所、昔から、引きつけられるように人びとが訪れる。SNS などの情報発信のメディアがないにもかかわらず、この場所に、大仏やシカをひとめ見ようと、各地から訪れていたのである。これって、季節風に乗って飛び立つ渡り鳥のように思えてならない。ひょっとして、人も鳥たちと同じような行動をしていることなのだろうか。もし、ひとも鳥たちと同じよううごきをする習性があるのなら、この群れたちの行きつくさきは、どこなのだろう。もしその答えがあるのなら、同じように、その先に行ってみたい気がする。

なぜなら、その群れが飛び立ち、たどりつく先は、きっと、この場所に訪れたときの気持ちと同じに違いない、と思えるからだ。だったら？なぜか思うに、素敵な時間を過ごし、共有できるだろう。ざつ然と見えている、人のせい然とした往来を見ながら、そのさきのことを、何故か知りたい気持ちになった。

---

# 連・奏・曲

TM2021

---

“TM”は、音楽学科の学籍番号に付くアルファベット。

2021年度にご縁を頂いた音楽学科在学生・卒業生、計18名の

「つらなり」という **声** だけで作った作品です♪



最古の音楽(楽器)であろう声を  
最先端のテクノロジーで変化・合成させ生まれた音楽

18名の声と心の『連～つらなり』

ぜひ、**五感** で感じてみて下さい！！

## 作品名「Flowers」

(インクジェットプリント／3点)

私はこの一年間、花を被写体として向き合ってきました。今までは単純に「花は綺麗だな」くらいに思って撮影していました。しかし、花を被写体としてポートレートを撮影しようと向き合うと、ただ単純に綺麗だけではない部分が見えてきました。

花も人間と同じように輝ける花咲く時を経験し、そして老い枯れてゆく。そして時には傷だらけになりながらも、誇らしげにその命を輝かせて咲いている。同じ茎で繋がった花達の生と死、寄り添う姿、いずれ自分にも訪れるその時。その花の姿を人と重ね合わせ、連なる花々、連なる人々を表現してみました。

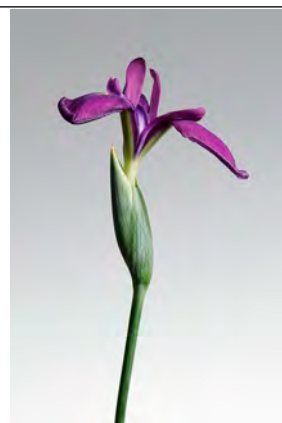
上瀧 伸博

### 【ご報告】

「花」作品シリーズとして撮影していた作品が、「エプソンフォトグランプリ2021」第18回 秋山庄太郎『花』写真コンテストに入賞しましたのでご報告申し上げます。これも大阪芸術大学で学ばせていただいたお陰だと思えます。ご指導いただいた先生方、共に学び、よい刺激を受けてきた仲間達に感謝申し上げます。ありがとうございました。



エプソンフォトグランプリ2021  
ネイチャー部門「入選」  
作品名「雑草と呼ばれるものたち」



第18回 秋山庄太郎「花」写真コンテスト  
「入賞」(※正式な賞名は3月19日発表)  
作品名「凜として立つ」

# ツラナル



<sup>ちい</sup>小さな毛ノモ沢山 <sup>あつ</sup>集まる事 <sup>こ</sup>で <sup>あか</sup>大きな力となります。


<sup>わたしたち</sup>私達の身近にある <sup>ちい</sup>4代紙やミル、ボール、  
<sup>つか</sup>スポンジ <sup>あか</sup>を使って表現しました。

今、COVID-19 (新型コロナウイルス感染症) や平和、戦争で  
多くの人達が悲しみ、傷付いています。

けれどももしも私達が、

私達が一人では困難な事でも、沢山の友達と力を合わせる事で、

乗り越える事が出来るのではないかと思います。

モリガキサン  Peace

## 「 一部分 」 ATSUKO



### 大阪に存在するベルリンの壁

大阪市天王寺区にある「統国寺」に、1998年9月信徒さんより御喜拾いただいたそうで崩壊前の大きさの実物。(高さ3.5m、幅1.2m、厚さ0.2m)  
左が西ドイツ側、右が裏側で、同じものが逆L字形で東ドイツ側に建っていたそうだ。

壁によって家族、恋人、友人、が離れ離れになった。

壁の崩壊後、離れ離れになった人々は再会できただろうか…

### ベルリンの壁とは

1961年8月13日、東西冷戦中東ドイツ政府により、ドイツベルリンに東西を分断する有刺鉄線に張り巡らされた壁ができ、その後コンクリート製の壁(総延長155km)ができた。

1989年11月9日にベルリンの壁崩壊。

### 日本に存在するベルリンの壁

神奈川県2ヶ所各1枚、大阪府2枚、長崎県1枚、沖縄県2枚

(コトバンク、ウィキペディア、ドイツ連邦共和国大使館総領事館 Q&A より)

# SANAE

## — 日常の冒険家 —

ファストファッションでファッションによる主張をし、アプリで加工した写真をInstagramにアップする…

そんな国民全員がアーティストの時代に、人工物の中の高揚感と自然物にある浄化作用を求めて自然と人工物の間を行き来し散歩しながら、“何か”が発見できる写真を目指している。

## — Everyday ordinary adventurer —

We do the claim by the fashion with a fast fashion and upload a machined photograph to an Instagram by application.

The entire Japanese citizens are the times of the artist.

She sees the elation in the artifact between a natural object and aim at the photograph which something can discover while taking a walk.

## — 作品解説 —

### 作品1 『連立する憂鬱』

同じものがたくさん並んでいる光景には、安心感がある。

しかし並んでいる側からは、沢山の中の同じものの一つでしか過ぎないという憂鬱な光景でもある。

### 作品2 『古典的表現の幻影』

鏡やスプーンなどの反射するものに映ったものを撮影する。

それはありふれた表現方法といえるかもしれないが、現代に幻影のように現れる古典的表現には何かを思い出させる力がある。

### 作品3 『記憶の反芻』

ネガティブな感情は“抑制の逆説的效果”により活性化し、断片的に存在感を増す。しかし、反芻することで慣れが生じて苦痛が和らぎ、徐々に浄化されていく。蝶を見たときの記憶のように…。

※抑制の逆説的效果：ある思考を抑制するとかえって関連的思考が増幅する効果。

# 華の舞

違う形の華の輪の連なりのイメージの中から、じっと見つめる顔。  
華のそれぞれに生命が宿り、生きていくのを主張している。  
人間の顔にも色々な形、生き方、生命があるように  
華にも色々な顔、生き方、主張の仕方がある。華は言葉を話さないが、  
色、形、大きさ、生き方がそれぞれ違う。

違う華同士が連なる時、艶やかになり一体となり、また違うイメージになる。  
その華の中に埋もれる顔。色々な華に囲まれ考える。静かなひとときを見つめなおす顔。  
つらい時、悲しい時、楽しい時の顔。  
つらい時、悲しい時、楽しい時の華。  
表現は違っても表情は一緒だと思う。もう一度自分を見つめなおしてみよう。  
なにか答えが見つかるかもしれない。

\*苦労したのは、華の表情を色分けして油彩で表現するのが大変だった。  
顔もなるべく無表情にしたかったので、顔の色をあまり足さずに塗りました。  
もっと何回も塗り重ねたかったが、時間が無くなってしまいました。

のうとう ふみこ



# モンタージュ～甲子園球場



制作

塚 浩一

## 【作品解説】

野球場は数多くあれど、甲子園球場は、心惹かれるなにかを秘めている場所だと言えます。ただ単に野球の聖地というだけでは言い表せないなにか……それを探りたくて、心惹かれるままに撮りためた甲子園の写真を素材にコラージュに仕上げたのがこの作品です。結果、浮びあがってきたのは、「みどり」と「ひと」の連なり。それらが織りなす美に、甲子園の唯一無二の魅力があるように思うのです。

## 【作品をめぐるキーワード】

モンタージュ

映像の組み合わせによる表現という意味あいがあります。映像作品であれば、編集という手法がそれにあたります。本作品においては、写真という媒体の映像を造形的に切り貼りをし、イメージを創造しました。

六甲おろし(凧)

おろし(凧)とは、山から吹き降りてくる風のことを指します。文字通り六甲山地から吹きおりてくる風がそれにあたるわけですが、六甲の山脈は、風の流れを変化させてと言われています。山脈に吹きつけた風は加速度をつけて吹き降りてくるとされています。

甲子園の海

六甲山地から宝塚を降りていくように西宮へ、その先に大阪湾へと至るわけですが、その広い港湾地域の一角に立地するのが甲子園球場になります。海辺の地域に位置する名だたる野球場の中でも、甲子園は名物の「浜風」と共に独自のイメージを持つ Sea Field と言えます。

## 作品介绍

タイトル "Lovely World"

作者 村山直子

## 撮影データ

カメラ Ricoh Theta Z1

f 5.6 シャッタースピード 1/2500

EV -1 ISO400

満開のダリア園のダリアが連なる様子を撮影しました。



## 作者紹介

写真学科 通信教育部 3年（まだ1年目）

360度カメラ、Ricoh Theta を使って作品作りをしています。

まだまだ世間的には認知度が低く、作品を作っている人も数少ないですが、「360度カメラでもできる」「360度カメラだからこそできる」作品を目指して作っていきたいと思っています。

## 受賞歴（いずれも Ricoh Theta による360度写真）

2018年 Ricoh Theta 公式写真展 Beauty is all around 入選

2019年大阪光の饗宴フォトコンテスト 入選

2020年リコーイメージングフォトコンテスト Theta 賞受賞

2021年 Ricoh Theta 公式写真コンテスト 入選（3作品）

2021年リコーイメージングフォトコンテスト GR 部門銅賞受賞

Instagram / Twitter で Lori 名義で毎日360度写真を投稿しています。

よろしければご覧ください。



# Historie lidí uvnitř.

*L'histoire des gens à l'intérieur.*

Die Geschichte der Menschen darin.

*History of the people inside.*

История людей внутри.

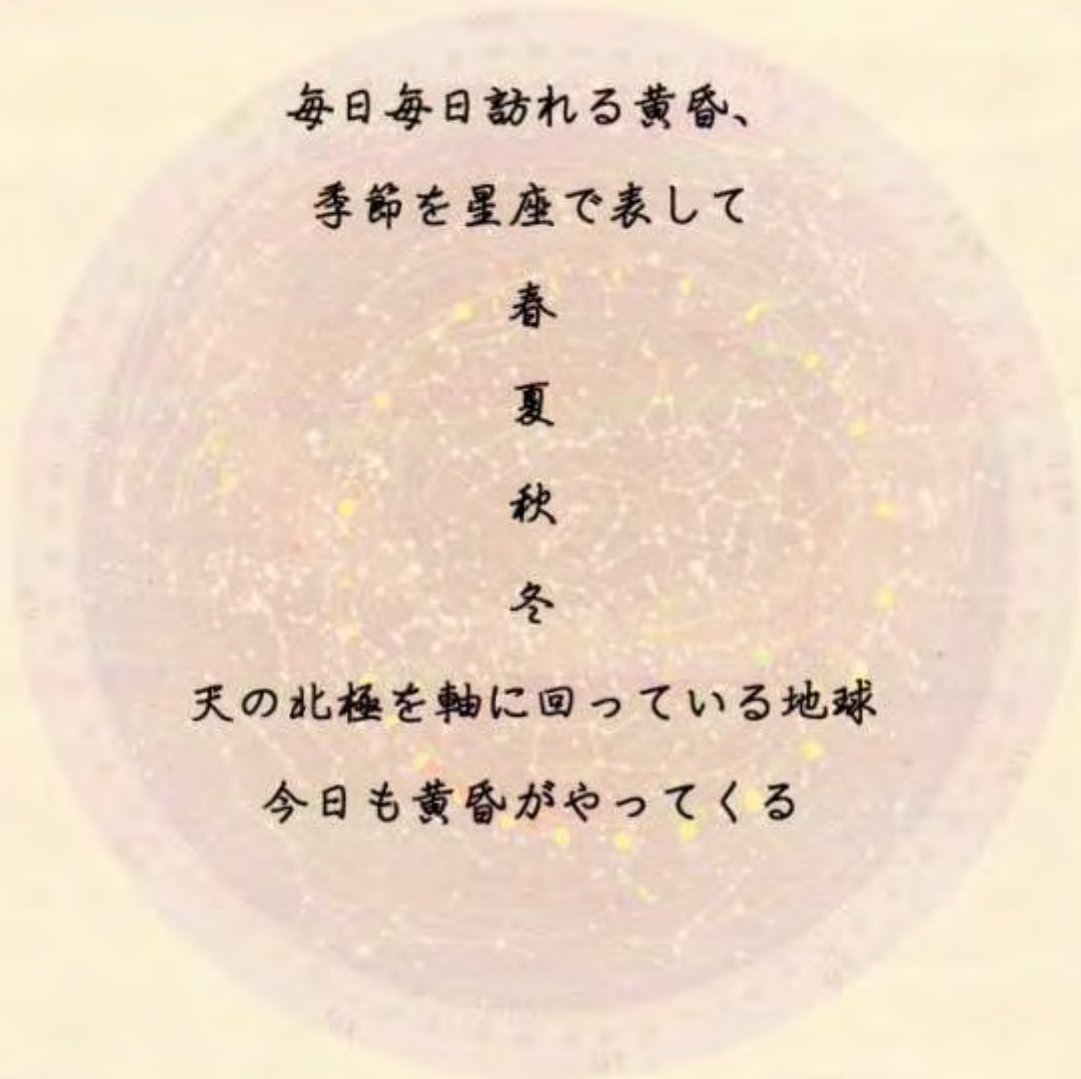
里面的人的历史。

*Storia delle persone all'interno.*

ゆっくりと円を描くように連なり、  
水面下でだんだんと近づいてきては交差する物語。  
時に本のスピンを命綱に、その意識の大海の中へ足を踏み入れては、  
閉じられたページをペーパーナイフで切り開くように、一つ一つを思いだす。

## 『Crossing circle get closer』

無意識の海に連なる様々な人の歴史を、人型の立体と手製本で表現しています。  
多様な時代に生きていたかもしれない人々の年表をそれぞれの国の言葉で作成しました。  
本体は一部アンカット装になっており、切り開かないとページが開かない仕様になっています。



毎日毎日訪れる黄昏、

季節を星座で表して

春

夏

秋

冬

天の北極を軸に回っている地球

今日も黄昏がやってくる

夕暮れから星空へと毎日繰り返される日々が  
いつまでも連なり過ごせる事を  
お皿を見るたびに気づいたら  
幸せだな

ひいこ

## 【著作権との連なり】解説

### 第1 著作権の発生する時期

著作権法には

『著作権の存続期間は、著作物の創作の時に始まる。(51条1項)』  
という規定があります。「著作物の創作の時」が著作権が発生するタイミングと言えます。

では「著作物」とは何でしょうか？ これは著作権法に定義があります。

『著作物 思想又は感情を創作的に表現したものであって、文芸、学術、美術又は音楽の範囲に属するもの(2条1項1号)』と規定されています。

つまり著作物であるためには、思想又は感情を「創作的」に「表現」したものでなければなりません。尚、思想又は感情に関しては多彩な議論がされていますが、ここでは「何かを表現したいという気持ち」という事にします。

#### (1) 創作性

東京地方裁判所で平成7年12月18日(『ラストメッセージ in 最終号事件』といます)の判決によると「ありふれた表現で記述しても創作性は認められない」とあります。

つまり、好きという感情を「好き」というありふれた表現を用いても創作性は認められないという事になります。

では、他の誰もが使わない様な表現でなければ創作性が認められないかというところではありません。**"創作性とは高い独創性までは要求されておらず、また学術性や芸術性の高さも問題とならず、何らかの個性が表れていればよい(p66)"**という考え方が通説です。

#### (2) 表現したもの

表現したものは、**"単に頭の中にあるというだけではならず、人の五感をもって感知し得る程度に具体的なものとなっている必要(p60)"**があります。

例えば、ペンで紙に書く・絵の具でキャンバスに描く・演奏したものを録音する等です。日本の法律的には何らかの媒体に記録を残す事までは要求されていないので、録音していない状態で鼻歌を歌う行為も「表現した」に該当します。

**……ってことを原稿用紙左側の文章で表現してみました。**

### 第2 『善意』と『悪意』

この二つは法律用語です。善意とは「ある事情を知らない事」をいい、悪意とは「ある事情を知っている事」をいいます。

私の作品に興味を持って、こんな文字だらけの解説をここまで読んだのも何かの縁ですから、ぜひ著作権については悪意(知っている)であってください。

**著作権に興味を持たれたら、まずは[著作権 文化庁]で検索してみてください。**

( )内は著作権法の条文です。

" "内は引用です。引用元「有斐閣社、著作権法第3版・山中信弘著」

## プリズム

作：秋元真理子

今回の塊展のテーマ「連なり」をテーマに三部作を作ろうと考えたとき、一番最初にできたのがこの「プリズム」でした。もともとのアイデアは、同僚がダブルクリップをつなげて樹のようにして、オフィスのデスク上に置いていたのを見たときに「これをアートにしたい！」とひらめいたものです。この禍々しい植木みたいなものを、神秘的な形で、もっと大きいサイズで表現できないかな、と考えた時に、揺らして音が出るようにして、「サウンドアート」として表現するのはどうだろう、という考えが生まれ、バランスボードと水琴鈴を使った展示に行きつきました。

本三部作に共通しているのは、クリップによる即興表現であるという点です。展览会ごとに、現地でクリップをつなげてその都度制作します。だから、二度と同じものができあがることはなく、このプリズム、このストロボ、このクロマキーは、今回の塊展だけのものです。

一度きりの人生のような、一回きりの表現。いまご覧になっているあなたとこれを共有できたならば、これ以上の喜びはありません。



## ストロボ 作：秋元真理子

本三部作に共通している点として、「即興表現」「サウンドアート」であることに加えて、もう一つ、「光」を放つものというテーマがあります。ストロボの場合、物理的に金色をしているということもそうですが、クリップとワイヤーによる生け花を模したアートであることから、「生命力」という命の火花を表現するテーマを織りこんでいます。

生きたい。

生き延びたい。

このような未曾有の災禍にあっても。

このような祈りをできるだけポジティブな形でこめたつもりです。



## クロマキー

作：秋元真理子

プリズム・ストロボが光を放つものであることに対し、クロマキーは、光の受け手として存在するものをイメージしています。どんな物事にも、光り輝く存在だけでなく、決して派手な役回りではないけれど、光ることを助ける存在が必ずいて、全体として調和が取れていくものです。目立つ要素だけでなく、全体を構成する要素がすべて等しく価値があり、かけがえのないものです。

この作品は、色々なカラーのクリップが助け合い織りなす形で全体を構成しています。全部のクリップが重みに耐えてくれることで、本作品を成り立たせています。そして最上部の留め金も。この作品で課題だったのは、会期をとおして、作品がその自重に耐えられるか、ということでした。本当はもっともっと長くしたい、しかしあまりに長く作りすぎると、崩壊してしまうジレンマを、この作品は内包しています。人が永遠に生きられないのと同じで。

ひとつひとつのクリップよ、留め金よ、苦しいかもしれないけれど、会期が終わるまでは耐えて頑張ってほしい。そんなふうに願うばかりです。





# 連なりの肖像

大本愛弓

自然と人のそれぞれの連なりについて2枚制作しました。

捻くれ者の私には「連なり」という言葉にはどうしても苦手意識があり

集団でいることの圧力や鬱陶しさを感じてしまいます。

どんなに近くにいて触れ合ったとしても

人は独りなのだと思ってしまうからだろう。

きっと縁というものは粒のような形をしていて

本当に繋がったり交わったりするものではないけど

ひとつに見えるほど寄り添うことで繋がっているのだと思います。

そんな独りきりの粒が寄り添ったり離れたり

触れた手が心地よく感じたり不快に振り払ったりする様子が

たまらなく愛おしく感じます。

和紙をマチエールにして和モダンの  
抽象表現方法を模索しています。

コロナ禍であらためて自分を表現する世界は  
抽象にあると感じましたし、救われました。

今回は、そのふつふつと湧き上がる思いを  
拾いながら、果てることなく続けていきたいという  
感情を表現しました。

一つ一つの作品にはそれぞれの想いがあり  
完結していますが、三点合わさったことで  
より大きく強い思いとなっています。

タカサカ タカ

# AzusA

作品と連動した楽曲も制作しました。ぜひ一緒にお聞きください。  
(会場内でお聞きの方はイヤホンをご利用ください。)

1. 予感————予感 1:08  
(<https://youtu.be/Z0Wqvo7YFts>)



2. 祈り(こちらの作品には連動楽曲はありません)

3. 抱擁————Embrace 5:03  
([https://youtu.be/EvB-A\\_I\\_3el](https://youtu.be/EvB-A_I_3el))



塊展会期中は限定公開、その後一定期間ののち一般公開する予定です。



まるい紙を重ねて「連なり」をテーマに額装作品と立体作品をつくりました。人との連なりを出会いに期待して子どもたちとまるい紙でつくったコマの混色体験を用意しました。まるい紙でこんなことができるよ！というアイデアもっと教えもらえると嬉しいです。連なる○○あなたには何にみえますか？

みていただきありがとうございます。

何年もみてきた塊展、今回はじめての参加です。

藪 晶子（やぶしょうこ）と申します。

大阪芸術大学大学院博士課程を修了した後、2015年部短大通信教育学部保育学科に入学しました。途中、出産のため一度退学し再入学、自分のペースで3年かけて単位を取得幼稚園免許を取得することができました。その後保育士免許も取りたい、でも子育てしながら仕事しながら学校に通うのはもう無理！と思い2日間の試験に挑戦、2020年に保育士の免許を取ることができました。

今は、大阪芸術大学短期大学部で通学・通信の両方で造形の授業を担当しています。保育園、幼稚園の教室もいくつか担当しています。忙しくも楽しい毎日です。元気の源はこどもたちの笑顔😊  
どんなことをしたら楽しんでくれるかな？といつも考えています。おえかきをするとき **しかく** い形の紙がよく使われます。まるい紙だったらどんな楽しいことができるかな？

今年の研究テーマ「幼児の造形表現素材としての紙と形状に関する考察」でまるい紙の可能性を生み出したいです。